

(自)2019年4月1日～(至)2020年3月31日

I. 事業の概況

1. 事業の経過及び成果

1. ライフステージに合わせたサービス提供

グループホーム「第2夢のいえ」の整備

2019年度内に物件探しを行うことはできなかった。今年度受審した第三者評価で、「さらなる改善が求められる点」において、「家族の高齢化による様々な課題を想定した対応策の準備が望まれます」という指摘をいただいた。当法人で取ることのできる対応策の一つとして、グループホーム整備はととも重要である。どのように進めることができるか、検討を続けていく。

本体設備の更新

本体施設が12年を経過して、空調機器の運転時間が2万時間を超えた。これは更新時期の目安に達しており、今後検討しなければならない。室外機についてはこれまで一度も清掃をしたことがなかった。少しでも長く使えるよう、大規模に清掃をした。

東京都の「地産地消再生可能エネルギー導入拡大事業」の補助金申請をして、2月に決定通知を受けることができた。2020年5月から太陽光パネルと蓄電池の設置工事が始まることとなっている。

2. 自立生活の支援～今日来て良かったと思える施設づくり～

意思決定支援に対する取組

意思決定支援に対する取組は未実施であった。グループホームのところで触れたが、第三者評価で指摘を受けた「家族の高齢化への対応」の一環として関係者と協議する場を設け、ご本人の意思を探る作業やご家族を取り巻くニーズへの対応を検討する機会を2020年度に設けていく。

作業支援の見直しと売上げを伸ばすための検討

新しい販路として、富士電機フロンティアに毎日パン4種類約20個のパンを納品し、年間で70万円以上の売上げを得ることが出来た。また月2回の金曜日に平山図書館で販売の機会を得て、年間24万円ほどの売上げを上げることが出来た。ただ、就労継続支援B型の平均工賃は、18,447円であった。

パングループにおいて、作業工程を見直し、これまで職員が行っていた工程を（ラベルの発行やパンの袋詰めなど）利用者の作業として切り出し、主体的に仕事に取り組んでもらえる様工夫を行った。また、外販をはなグループに担ってもらい、その時間を製造の時間に当てることができ、はなグループ利用者は外部の方と対面販売で接する機会を得ることができた。

職場内コミュニケーションの活性化

全体会議でグループワークを用いて、職場内のコミュニケーションを図った。特に「津

久井やまゆり園事件」について、4月にドキュメンタリー映画を観て、5月、7月、9月に話し合いを行った。また、1月には虐待防止委員会の企画で、権利擁護にまつわる事例検討を行った。人権意識を高めつつ、グループを超えた繋がりの方が持てるようにした。

3. 信頼いただける施設運営

事業運営の透明性の確保と法人のPR

ホームページにおいて、利用者の活動や作業の報告、お知らせ記事を積極的に公開した。ショップゆめにおいては、地域の情報誌やチラシなどを置いて情報発信に努めた。

地域公益活動の検討

- ・法人独自の取組として、おむすびキッチンのために3回アネックスのキッチンと受け渡し場所の提供を行った。風グループ利用者にも渡す時の手伝いをしてもらった。
- ・職場体験の中学生を述べ6名受け入れた。体験に当たって学びを深めてもらうための事前学習のシート記入や修了証を用意して、達成感を味わってもらうような取組をした。丁寧な受け入れをして、この仕事に良い印象を持ち、将来の担い手になってもらえるよう心掛けて受け入れた。
- ・弁当の配食事業と買い物支援事業では、はなグループ利用者が配達場面に入り、地域の方たちと直接触れ合うことのできる機会とした。
- ・日野市内社会福祉法人ネットワークにおいて、「フードパントリー事業」がスタートした。フードパントリーとは、その日の食事に困る方達に食料を届ける拠点として、またそこから必要な支援機関・相談機関につなぐことを目的とした事業である。実際に近所の方が取りに来ることがあり、今後新型コロナウイルスの影響で必要とする方が増える傾向である。
- ・地域生活支援事業の「移動支援事業」従事者の養成について、養成のターゲットとなる大学生に向けて、移動支援のニーズの実際について講義する機会を得ることが出来た。その授業の振り返りで、大学生が障害当事者と触れ合う機会が少なく、自らその機会を得ようという姿勢も少ないことが分かった。そこで、利用者と大学に出向いて接する機会を設けることを検討し進めていたが、新型コロナウイルスの影響で延期となってしまった。

イベントの開催・参加

2019年度の夏祭りときび祭は、天候に恵まれ、利用者のみなさんは楽しんで参加することが出来た。夢ふうせんまつりも天気が良く、たくさんの地域の方にご来場いただくことが出来た。地域懇談会の「四中地区アクションプラン」の会議に参加して、夏休みのラジオ体操イベントに、旭が丘地域の利用者と夢のいえ利用者とともに参加することが出来た。ここでは第四中学校の生徒が付き添いのボランティアに参加してくれて、触れ合う機会を持つことが出来た。

2. 第三者評価の結果

工房夢ふうせん	
特の良いと思う点	
①	<p>多機能施設の良さを生かして、利用者に合った支援を行っています</p> <p>法人は生活介護と就労継続支援B型作業所、重度心身障害者のための生活介護を行っており、グループホームやショートステイも一体的に行っている事業所です。そのため、利用者の状況や状態の変化に合わせて、利用するサービスの見直しを柔軟に行っています。施設でのサービスが利用者に合わなくなった場合は他のサービスへの移行も検討し、スムーズに行えるように取り組んでいます。生活介護利用者が就労継続支援B型に移行したり、グループホームやショートステイ利用を通じて家族支援や利用者の地域生活の向上を目指して運営されています。</p>
②	<p>理念・基本方針を歌にして、毎日定時に放送して周知徹底を図っています</p> <p>「障害者施設愛唱歌プロジェクト」のもとで資金を募り、CDの作成に至りました。そして、この曲は、心身障害のある人たちが、日頃心に思っているであろう気持ちを歌った支援者へのメッセージです。CDを障害者支援の一助として役立ててもらえるよう、当施設だけでなく、どこの施設でも活用できるように著作権などは設定していません。歌詞は、多くの障害者施設の運営理念や運営方針で使われる「社会参加」「自立」「尊厳」といった言葉を日常語に置き換えて歌詞にしています。</p>
③	<p>事業継続計画が立案されています</p> <p>本格的な事業継続計画（BCP）の策定に取り組んでおり、完成に近づいています。想定される災害を含む基本方針がまずあります。次に勤務中である場合と勤務時間外での対応方法、事業を継続するか否かの判断基準、大災害時の対応が記されています。非常時に参集可能な職員のリストも作成されており、本格的なBCPとして運用できる段階に近づいています。早い段階に完成させて、より分かりやすくまとめて実用に供せるようになることを期待します。</p>
さらなる改善が望まれる点	
①	<p>利用者にとって分かりやすい工賃の説明が望めます</p> <p>工賃の説明は「利用者工賃規程」として家族や利用者に配布しています。利用者にも読めるように漢字にはルビを振ってはいませんが、文章の内容や使われている文言が難しいため、どの程度まで理解されているのか判断が難しいように思われます。例えば工賃を「きゅうりょう」としたり、文章の内容を家族向けではなく利用者が分かるようにかみ砕いた表現で記載するなど、工賃についての分かりやすい説明が望めます。</p>
②	<p>マニュアルをはじめ、文書管理の見直しが望めます</p> <p>多くのマニュアルが各グループごとに作成され、ファイリングされています。例えばパン製造のフローチャートで、食パン生地のみキシング方法が全3ページにわたって記載されていますが、同様に菓子パン生地のみキシング法も同じくフローが示されています。両者は全く同一であり、一つにまとめた方が良さそうです。感染症対策マニュアルにも様々な資料が混在しています。付箋がビッシリ貼られているなどもあり、全ての文書、記録に統一した整理が必要と思われます。</p>
③	<p>家族の高齢化によるさまざまな課題を想定した対応策の準備が望めます</p> <p>家族の高齢化や介護力の低下が利用者にとっての今後の大きな課題となっています。親なき後を見据えた利用者の権利を守り安定した生活を送るために、成年後見制度等のいくつかの選択肢があります。家族の持つ利用者への思いの強さや後見人制度への不安感などからこれらの制度についての理解が進みにくい状況があります。家族が安心して利用できるよう、利用者一人ひとりの家族の状況に合った</p>

	制度の情報提供ができるよう、地区の成年後見センターや市役所の関連部署など関係機関との一層の連携を取りながら理解を進めることが望まれます。
--	--

工房夢ふうせんアネックス	
特に良いと思う点	
①	<p>多機能施設の良さを生かして、利用者状況に合った支援を行っています</p> <p>法人は重度心身障害者のための当施設のほか生活介護と就労継続支援B型作業所、グループホームやショートステイを一体的に運営している事業所です。そのため、利用者の状況や状態の変化に合わせて、利用するサービスの見直しを柔軟に行っています。提供しているサービスが利用者に合わなくなった場合には他のサービスへの移行もスムーズに行えるように取り組んでいます。</p>
②	<p>利用者一人ひとりを尊重した支援ができるように職員全体で取り組んでいます</p> <p>利用者は通所後3つのグループに分かれて、午前中は機能訓練やアルミ缶つぶし、紙漉き作業、散歩や買い物に行くなどの活動をしています。昼食をとるタイミングや食べ方も一人ひとりに寄り添って行えるように丁寧に話しかけながら行っています。休憩を取る際には、パーテーションやマットを使って、静かに過ごせるように工夫しています。午後のプログラムも個別の特性や残存機能を活かした活動が出来るような内容を取り入れながら、どのような場面においても利用者の意思を大切に支援ができるように取り組んでいます。</p>
③	<p>穏やかな雰囲気の中で、利用者はゆったりと食事を楽しむことができます</p> <p>利用者によっては一口食べる時間が長く、なかなか食事が進まないケースがあります。しかし、マンツーマンでついている職員は気長に待ち、利用者の動きが激しい場合には職員が優しく体を寄せて包み込むと利用者は落ち着きます。嫌いな食べ物も根気よく口元に持っていき、バランスの取れた食事提供を心がけています。静かなBGMが流れる中で、個々の利用者のペースに合わせて楽しい食事時間の提供が来ています。</p>
さらなる改善が望まれる点	
①	<p>気づきメモを活用して、利用者に対する根拠のある仕組みの構築が期待されます</p> <p>意思表示が難しい利用者が多く、職員は普段から口元・声・手・足等の動きに注目して情報共有し、支援にあたっています。より根拠のある支援を行うために、担当職員だけではなく職員全員が利用者について感じたこと・気づいたことがあればメモにして箱などに入れ、リーダーを中心に確認しながら、利用者の意思の確認や選好を考え、最善の利益を検討する仕組みを作ることが課題となっています。また、気づきメモはリスクマネジメントとしても活用できるため、PDCAサイクルに基づく、より効果的な課題解決が期待されます。</p>
②	<p>家族の高齢化によるさまざまな課題を想定した対応策の準備が望まれます</p> <p>家族の高齢化や介護力の低下が利用者にとっての今後の大きな課題となっています。親なき後を見据えた利用者の権利を守り安定した生活を送るために、成年後見制度等のいくつかの選択肢があります。家族の持つ利用者への思いの強さや後見人制度への不安感などからこれらの制度についての理解が進みにくい状況があります。家族が安心して利用できるよう、利用者一人ひとりの家族の状況に合った制度の情報提供ができるよう、地区の成年後見センターや市役所の関連部署など関係機関との一層の連携を取りながら理解を進めることが望まれます。</p>
③	<p>専門家からのアドバイスによる支援内容を映像化することで、家庭での応用や職員全体での共有化の促進を期待します</p>

療育センターや歯科医師と連携して、利用者一人ひとりへの機能訓練の方法や口腔ケア、口周りのマッサージ法、食事時の姿勢や食形態、自助具が利用者の状態にあっているか等の指導を受けています。指導の時には家族にも参加を働きかけ、指導内容は他の職員にも分かりやすいように写真付きで記録しており、全ての職員で共有することを目指しています。支援の内容を映像化することで家族も一連の流れを理解したり、何度も確認することが出来ます。また、職員が替わっても理解しやすく、記録の負担軽減など業務の効率化にもつながると思われます。
--

夢のいえ	
特に良いと思う点	
①	<p>利用者一人ひとりの意思を丁寧に確認しながら支援をしています</p> <p>日常の支援については、丁寧な言葉かけを心がけています。利用者それぞれにコミュニケーションの取り方が異なりますが、スタッフは一人ひとりの個性や特徴を把握しながら、意思の確認を行っています。言葉で表すことが難しい利用者に対しては、本人のこだわりや日頃の様子や表情などから、言葉かけを工夫したりなるべく利用者の意思を確認できるような取り組みをしています。集団生活ではありますが、プライバシーを重視した環境づくりを行なっています。</p>
②	<p>ショートステイ利用者の不安が軽減できるように工夫しています</p> <p>ショートステイ利用者については、一人ひとりの特性の把握や配慮すべき事項など、事前に情報を得た上で見学をしてもらっています。利用中の不安やストレスの軽減を図るため、日中～夕食まで過ごす等、少しずつ慣れてもらえるように工夫しています。本人が使っているお気に入りのグッズなども持参してもらい、安心して利用できるように努めています。通所中の情報や家庭が作成したプロフィールをもとに支援にあたり、記録を確認しながら全体ミーティングの時に丁寧に情報共有を行っています。取り組みの結果、稼働率は104%となっています。</p>
さらなる改善が望まれる点	
①	<p>地域との連携が図れるよう具体的な取り組みが望まれます</p> <p>当施設は駅前のビルの中にあり、生活の拠点としてとても恵まれた環境にありますが、今のところ地域との連携があまり取れていません。利用者は夢ふうせんには送迎バスで通所しており、週末は帰宅することも多いため、利用者自身もなかなか地域の資源を活用することが難しい状況にあります。まずは地域の交番や消防署、民生児童委員にホームの存在を知ってもらったり、古くからある商店会で買い物を楽しんだり、自治会などに働きかける等、少しずつ交流をしながら、今後、当施設の存在が地域に根付くような活動が望まれます。</p>
②	<p>夜間や早朝の事故や感染症、災害時等の対応について独自の対策が望まれます</p> <p>防災訓練に関しては、階段を使った避難訓練が検討されていますが、夜間や早朝などに想定されるケースへの対策が十分とは言えません。入居しているビルが災害や停電・断水等の事態に見舞われた場合や利用者の急病やケガ等に対して、スタッフ全員が利用者個々の特性から推定される行動のリスクマネジメントが取れるように訓練しておく必要があります。また、同時に非常食や防災グッズの定期点検を利用者と一緒に行うなど、施設独自の対策の立案と訓練が望まれます。</p>

3. 今後の課題

人材の確保・育成

前年度中にある程度人員を確保することはできた。しかし、同時に退職する職員も出てしまった。職員を確保することを引き続き行い、定着支援にも力を入れなければならない。そのための人材育成が重要である。昨年度に実施した第三者評価の職員アンケートから、「事業所は、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望と連動した事業所の人材育成計画を策定している」「事業所は、職員一人一人の育成の成果を確認し、個人別の育成計画へ反映している」といった項目に対して、「そう思う」と回答したものが少ない結果があった。日々の業務に追われながら、成長していることの実感であったり「見える化」されていないことが、仕事に対するやりがいにつながりにくい状況になっていると考えられる。事業計画を周知することや、求める人材像の明確化、それぞれ職員が考えていることを発言できる機会を設け、有用感を高めるなどの機会を作っていく。

4. 新型コロナウイルス感染拡大への対応

新型コロナウイルス感染症が拡大し、4月15日から5月6日まで基本的に休所とした。在宅生活が難しい利用者が6～7名通所して来て、各グループの支援職員は少ない人数で受け入れを行うとともに、電話連絡を毎日2回行って状況確認をして、給付費の請求ができるように努めた。

感染拡大防止という社会的要請と利用者の日常生活の継続という間で、法人としてできることをその都度状況に応じて行っていく。5月11日から当面は、各グループ利用者を半数の出席として、一定程度の距離を保って、3密の状態にならないようにしながら受け入れを行っていく。

Ⅱ 工房夢ふうせん

1. 主要な事業内容

当法人は工房夢ふうせんが障害者総合支援法により、障害者福祉サービス事業の指定を受けている。工房夢ふうせんでは利用者の適性を勘案し、6つのグループ(そら、はな、うみ、弁当、パン、カフェ・シェーナ)に編成の上、生活介護、就労継続支援B型事業として、福祉サービスを提供した。

2. 主要な事業所

工房夢ふうせん 東京都日野市旭が丘2-4-2-12

3. 利用者の状況 (2020年3月31日現在)

区分	グループ	男	女	合計
生活 介護	そら	10	9	19
	はな	7	4	11
	うみ	16	9	25

支援B型 就労継続	パン	3	11	14
	弁当	1	4	5
	シェーナ	0	1	1
	合計	37	38	75

4. 職員の状況（2020年3月31日現在）

職名	常勤	非常勤	職名	常勤	非常勤
施設長	1		生活支援員	14	9
副施設長	1		職業指導員	4	6
事務長			管理栄養士		1
サービス管理責任者	3		調理員		18
事務員	2	1	運転手		6
看護師	1				
医師		1	合計	26	42

各グループ職員配置（2020年3月31日現在）

グループ	利用者	常勤職員	非常勤職員	常勤換算
そら	19	4	3	6.40
はな	11	3	1	3.40
うみ	25	7	5	10.53
パン	14	3	4	4.75
弁当	5	1		1.00
シェーナ	1		2	1.20
合計	75	18	15	27.28

5. 職員の研修状況

	研修名	参加日	参加者
1	触法行為に至ってしまった障害のある方の地域支援を考える	4月11日	小杉
2	クレプトマニア 万引き依存症という病	4月25日	清水
3	初任者研修	5月14～15日	上原
4	増田屋 春の食品フェア	5月15日	平林・金井
5	島田療育センター摂食機能療法セミナー①	5月16日	島村・志村・福岡・保坂
6	課題解決へのアプローチ 広報を通して	6月7日	小川
7	島田療育センター摂食機能療法セミナー②	6月13日	西郷・志村・福岡・保坂
8	経営者・管理者セミナー	6月17日	浅野
9	看護師講座①	6月17日	寺谷
10	障がい者グループホーム従事者基礎研修	6月19日	松村

11	医療的ケアがあっても安心して暮らしたい	7月6日	小林・青木
12	多飲水・水中毒の支援	7月13日	田口
13	チームづくりの視点を学ぶ	7月16日	岡野
14	意思決定支援と地域移行	7月17日	松村
15	島田療育センター摂食機能療法セミナー③	7月18日	島村・志村・福岡・保坂
16	障がい者グループホーム従事者研修	7月26日	松村
17	経営協セミナー	7月30日	浅野
18	てんかん基礎講座	8月1～2日	佐藤・志村
19	重心障害児者の急変にどう対応したらいいのか？	8月4日	寺谷
20	手織体験	8月20日	清水
21	さおり織指導者養成講座	8月24日	宮野
22	人権問題の基本的な理解に向けて	8月26日	松村
23	島田療育センター摂食機能療法セミナー④	9月5日	福岡・保坂
24	イライラとうまく付き合う アンガーマネジメント	9月17日	鈴木
25	支援者が元気であり続けるために	9月26日	山本
26	「安心して暮らしたい」その思いを実現させるために	10月3日	浅野
27	島田療育センター摂食機能療法セミナー⑤	10月3日	保坂
28	障害者の権利と命	10月3日	浅野
29	重心者の摂食嚥下と高齢化	10月31日	市村
30	重症心身障害児者の支援の基本と実践	11月2日	福田・福岡・山本・青木・小林・下田
31	島田療育センター摂食機能療法セミナー	11月14日	廣瀬・都筑・吉田・志村
32	省エネセミナー	11月26日	小川
33	集団指導のプログラムと技術	12月4日	岡野
34	島田療育センター摂食機能療法セミナー	12月5日	西郷・吉田・保坂
35	虐待防止・権利擁護研修	12月11日	小杉
36	医療的ケアの実践と課題	12月14日	寺谷
37	グループホーム世話人研修	12月18日	松村・松島
38	排泄支援の知識と技術の基礎研修	12月20日	志村
39	知的障害者の終末期支援を考える	1月25日	田口・上野
40	大災害に備えて	2月11日	真柄
41	福祉施設の為のBCP作成	2月14日	真柄
42	自己認知への発達支援	2月16日	小川
43	D&I協働プログラム報告会	2月19日	小杉
44	管理職研修	2月19～20日	真柄
45	重心連絡会	2月20日	寺谷

46	島田療育センター摂食機能療法セミナー	2月20日	福岡・保坂・中石・吉田・志村
----	--------------------	-------	----------------

6. 職場体験受入れ

月	日	中学校名	人数	受入グループ
6	27～28	七生中学校	2	パン・はな
9	19～20	日野第1中学校	2	そら・パン
9	24～25	日野第4中学校	2	そら・パン
延べ人数			6	

7. 社会福祉士援助実習等及びボランティアの受入れ

月	日		月	日	目的	名前・所属	人数	受入れグループ
4	22	～	5	16	社会福祉士実習	NHK 学園	1	風
6	10	～	6	25	社会福祉士実習	NHK 学園	1	そら
10	29	～	11	14	社会福祉士実習	NHK 学園	1	うみ・そら・弁当・風
12	9	～	12	24	社会福祉士実習	NHK 学園	1	うみ・そら・弁当・風
7	30	～	8	21	保育士実習	明星大学	2	パン・弁当・そら・はな・風
8	26	～	9	30	社会福祉士実習	東洋大学	1	風・そら・はな・パン・うみ
7	29	～	8	5	夏の体験ボランティア		3	そら・はな・風
4	1	～	2	25	一般ボランティア		91	うみ・そら・はな・風

8. 特別支援学校実習生・見学者受入れ

月	日		月	日	学校名	学年	人数	性別
11	5		11	7	八王子東特別支援学校	高3	1	男
11	21		11	22	八王子東特別支援学校	高2	1	男
2	12		2	13	七生特別支援学校	高1	1	女
2	13		2	14	七生特別支援学校	高1	2	女
2	19		2	20	七生特別支援学校	高1	2	男
延べ人数							7	

9. 理事会・評議員会

理事会				評議員会			
回数	日程	出席者数	議題	回数	日程	出席者数	議題
1	5月24日	7名	2018年度事業報告 2018年度決算 2019年度第1回評議員会の招集について 評議員選任・解任委員会運営細則について	1	6月7日	9名	2018年度事業報告 2018年度決算 役員の退任について
2	6月7日	7名	理事長・副理事長の選任について 定款細則の改定について	2	11月15日	9名	2019年度予算の上期執行状況について
3	9月25日	7名	(社福)夢ふうせん太陽光発電設備等導入事業について	3	3月8日	8名	2019年度2月補正予算 2020年度事業計画 2020年度予算
4	11月1日	7名	2019年度予算の上半期執行状況について				
5	2月28日	7名	2019年度2月補正予算 2020年度事業計画 2020年度予算 就業規則の改定について				

10. 委員会活動

防災委員会

実施内容

- ・年9回会議を実施、BCP検討会を7回実施
- ・設備点検（1回/年）
- ・防災備品確認（1回/年 適宜補充・交換）
- ・防災訓練実施（3回/年）
- ・AED講習会実施（2回/年）
- ・防災無線訓練実施（12回/年）

会議内容

- 6月 今後の進め方について 業務分担について
- 7月 防災訓練について 防災備品について
- 8月 防災訓練振り返り 防災備品チェック
- 9月 防災訓練について 防災備品について

- 10月 台風19号に伴う福祉避難所開設振り返り 防災訓練について
 11月 防災訓練振り返り 防災備品について
 12月 防災訓練について 防災備品について
 1月 防災訓練について 防災無線について
 2月 防災訓練について 災害伝言ダイヤル使用について

来年度に向けて取り組むべき課題

- ◎備蓄食料品・備品の購入
- ◎BCP作成・周知
- ◎福祉避難所運営マニュアル作成
- ◎防災訓練等での地域との連携

医療的ケア検討委員会

① 2019年4月19日(金) 指導医健診(継続)医療ケア利用者2名

ご本人・保護者・有本副院長

浅野施設長・寺谷サビ管・看護師上野・佐藤 開始10:30~12:00 終了

◆医療ケア指示内容・体調確認について

§様(保護者同席): 体重コントロールのすすめ・徐脈30回/分以下保護者・主治医報告

§様(保護者同席): 診察時、咽頭喉頭残留指摘なし。他口唇荒れ

§様(欠席): 体調不良欠席

② 2019年5月16日(木) 指導医健診(継続)医療ケア利用者1名対象

ご本人・保護者・上石 Dr

浅野施設長・寺谷サビ管・看護師上野・佐藤 開始10:30~12:00 終了

◆医療ケア指示内容・体調確認について

§様(保護者同席): 指示変更なし。継続指示 今後胃ろう造設検討中

§様(欠席): 体調不良欠席

③ 2019年6月13日(木) 指導医健診(継続)医療ケア利用者2名

同上 研修医サコ医師同席

§様(保護者同席): 体調確認・緊急時受け入れ先医療機関について近隣第3次(重症受け入れ)救急病院検討のすすめあり

§様(保護者同席): カニューレ事故抜去時想定再挿入手技実技確認(非常勤Ns2名) 石川Ns/小倉Ns

*気管カニューレ事故抜去に備え、各関係者と連携をとり、実施体制について整えていく

他 : けいれん発作時及び通所中のダイアップの挿肛した場合の通常送迎利用について

④ 2019年8月23日(金) 医療ケア・感染症対策検討委員会

有本副院長・浅野施設長・寺谷サービス管理者・上野・佐藤 開始10:30~12:00 終了

◆感染症予防対策検討・点検: 2018年度の感染症流行状況と今後の対策について

→2018年度冬季インフルエンザ流行状況報告

→2019年度のインフルエンザ対策検討

利用者・職員のインフルエンザ予防接種状況把握を12月に実施(職員は医療機関接種済で接種済把握)

→インフルエンザ罹患状況のアナウンスについては、本体・アネックス単位で、職員、利用者問わず、1名発生した段階で行う。その後は感染拡大状況で判断する

- ◆今年度より、冬季発熱等体調不良者の状態把握・2次感染予防のため体調情報収集シートを試行
- ◆ノロウイルス等感染性胃腸炎流行期の食品従事者(有症者:2日間は食品従事作業は行わない)の業務継続については、ウイルス迅速検査を受けて頂く場合がある。感染性胃腸炎と診断された場合は、食品従事許可書を提出後通常作業に戻る

他:利用者定期健康診断について:個人的に健康診断の実施を希望されない場合の扱いについて

⑤ **2020年1月24日(金)**

有本副院長・浅野施設長・寺谷サビ管・看護師上野・佐藤 開始10:30~12:00 終了

◆医療ケア利用者実施状況報告:

胃ろうボタン交換(在宅医)時は、事故抜去時対応も考えられるため、使用器材の確認をおすすめする

→医ケア観察記録ノートに、交換時の使用器材がわかるように記入用紙を作成する

体調が優れない中での通所利用の場合については、家族と緊急時の取り決めを再度確認要

→現状では、変更等確認していないので、現状の緊急連絡体制表・主治医指示にて対応する

◆感染症対応:インフルエンザ罹患状況・対策

◆他グループ利用者相談:ケトン食・てんかん外科治療後の大発作他

来年度へ向けて取り組むべき課題

◎2020年度は、施設全体で、新卒利用者は受け入れないため、本体・アネックス在籍者の体調把握・身体機能の維持、安定した通所活動のために必要な医務業務を行えるように再考する。

◎医療ケア利用者に安全にケアが提供できるように努める。

◎島田医療支援事業については、心理行動場面観察等アネックスの利用者以外にも機会を設けられるとなお良い。施設職員全体の知識の向上、理解を深められるような継続支援となるように検討できると良い。

給食委員会

給食会議

4月:エール給食委託業務について

5月:エール給食委託業務について、配膳について

6月:エール給食委託業務について

7月:エール給食委託業務について、アネックスの下膳について

8月:アネックスの下膳について、嗜好調査について、配膳について

9月:嗜好調査について

10月:夢ふうせんまつりについて

11月:次月の献立、ケジュールについて

1月:次月の献立、スケジュールについて

2月:来年度の嗜好調査について

来年度に向けて取り組むべき課題

◎10月より、エールへの給食提供が始まる。本体、アネックスへの給食の提供とスムーズに行えるよう、事前準備をする。

◎利用者一人ひとり、給食が楽しい時間となるよう、環境の整備、提供の方法を現場職員と共有しながら行っていく。

広報委員会

実施内容

- ・年間2回の通信発行
- ・ホームページの更新

41号(7月1日発行)

2019年度入所式、2018年度決算、飛火野ロータリークラブ交流会報告他

42号(9月14日発行)

新理事長挨拶、ご寄付の報告、イベント報告他

来年度に向けて取り組むべき課題

- ◎社会福祉法人の経営の透明性が求められているので、通信・ホームページを通じて積極的に情報を開示していく。
- ◎作業や活動に必要な物品の購入の支援を後援会に依頼し、そのことをきっかけとして会員がふえるように通信・ホームページを通じてお願いしていく。
- ◎職員の働く姿を取り上げて、求職者にアピールできるようにする。

虐待防止委員会

実施内容

- ・全体会議でのグループワークのため、虐待・権利侵害の事例を準備した。

9月：虐待防止委員会

1月：虐待防止委員会

全体会議で事例検討を実施

来年度に向けて取り組むべき課題

- ◎虐待チェックシートは各グループミーティングで取り組み始めた「自己チェックシート」に替えて、毎月のミーティング時に職員の権利擁護意識の振り返りをしていく。
- ◎事例検討などを企画し、職場全体の啓発も継続していく。

社内美化委員会

実施内容

- ・本体・アネックス各作業室・廊下共用部の空調フィルター清掃
- ・テラス・側溝・屋上・雨樋の落ち葉清掃
- ・公用車（軽自動車のみ）の冬タイヤの履き替え、大型扇風機の片付け
- ・省エネのための実態調査（室温と設定温度について）

来年度に向けて取り組むべき課題

- ◎省エネへの取組と啓蒙活動。室内温度と設定温度の適正化の検証。
- ◎共有部分を中心とした施設内外の清掃。
- ◎社内美化に職員が関心を向けることが出来るよう、啓発と実際の協力依頼をする。

11. サービス内容について

パングループ

① 作業報告

作業種目	作業内容・課題
製パン	内容：パン製造・仕込、ラスク・スコーン等製造・販売 課題：製造と支援のバランスが課題。
製菓	内容：クッキー、ケーキ（パウンド、チーズ、チョコ等）製造・仕込 課題：原材料価格上昇と消費税増税の為、商品の価格を4月から見直した。今後影響を見ていく。バターの確保。製品管理と在庫の確保。急な発注への対応。
販売	販売先：日野自動車・日野高校・日社協・松が谷高校・平山図書館・日野市役所・第七幼稚園 課題：はなグループと合同で販売実施。販売に行く回数が減った分負担は軽減された。売り上げを伸ばすための販売方法の工夫を継続して検討する。
配達	配達先：カフェ・シェーナ、豊田駅北口ショッピングわーく・わーく、カフェ・グリーン、富士フロンティア株式会社、日野第六小学校、日野ハーモニー株式会社、市内学童クラブ 課題：販売と重なった際の人員の確保。

② 行事・活動報告

公民館まつり	5月18日（土）中央公民館にて公民館まつりに参加。製造及び製品の販売を行った。
宿泊旅行	8月29日（木）・30日（金）弁当G・シェーナと合同で群馬方面にて1泊旅行を実施。
スポーツレク	10月8日（月）スポーツ公園にてスポーツレクリエーションフェスティバルに参加。製造及び販売を行った。
就労B型忘年会	12月25日（水）弁当・シェーナと合同で、ホテルビュッフェとカラオケに別れて実施。
リズム体操	毎月第1水曜日に希望者のみ参加。
障害者スポーツ体験教室	東京バルディ障害者スポーツ体験教室 毎月第2・第4火曜日に希望者のみ参加。

③ 次年度へ向けて取り組むべき課題

- ◎利用者の業務分担・作業量の見通しと充実
- ◎経費節減対策（ロス率チェック、仕入れ先の検討、収支の見合わない販売先の変更）
- ◎各業務のマニュアル作成

弁当グループ

① 作業内容

作業種目	作業内容・課題
配食準備・盛り付け	内容：配食準備・盛り付け 課題：盛り付け忘れや汚れのチェックの徹底。

仕込み	内容：高齢者弁当用と給食の野菜の仕込み 課題：切る野菜の量が多い時の開始時間を早めるスケジューリング。
片付け	内容：洗い物や乾燥した調理器具の片づけ 課題：洗い物の技術の向上と調理器具収納の視覚的構造化。
室内清掃	内容：ほうき・雑巾がけ・室内消毒・2階食堂清掃・トイレ清掃 課題：掃除場所を隔々まで丁寧に出来るよう、1人1人場所を決めて行うなどの工夫が必要である。
食品加工	内容：ひのめぐみ焼きカレーパンのフィリング、ルバーブジャム・イチゴかりんとうのソース加工 見通しと課題：加工工程へ利用者が更に関われるようにする。

② 行事・活動報告

宿泊旅行	8月29日(木)・30日(金) パン・シェーナと合同で群馬方面にて1泊旅行を実施。
就労B型忘年会	12月25日(水) パン・シェーナと合同で、ホテルビュッフェとカラオケに別れて実施。
障害者スポーツ体験	東京ベルディ障害者スポーツ体験教室 毎月第2・第4火曜日に希望者のみ参加。
やまばとでの映画鑑賞会	地域活動支援センターやまばとでの交流事業(映画鑑賞など)を通じて他事業所との交流を深めた。映画鑑賞後の会話も楽しめるようになってきた。
リズム体操	毎月第3水曜日に希望者のみ参加

③ 次年度へ向けて取り組むべき課題

<p>◎2020年度下半期から開始予定のエール給食事業開始にあたり、午後の作業の組み立ての見直しを行っていく。</p> <p>◎現在、車両2台で配食を行っているが、年々利用者が増えており、1日あたりもう10食程度増えるようであれば、車両をもう1台増やす検討も必要。</p>
--

Café シーナ

① 作業報告

作業種目	作業内容・課題
フロア接客	内容：水出し・オーダー・配膳準備・配膳・下膳など。 課題：混雑時にも正確なオーダー取り、配膳、下膳ができるように、気持ちの良い接客態度をとれるようにする。
厨房・調理補助	内容：食器洗い、コーヒーの豆挽き、カレー、ミートソースの仕込み、だしパック、アイスティの小分け 課題：職員からの指摘無しでも確実に洗い物が出来るようにする。食器類の丁寧な取扱いが出来るようにする。
開店準備	内容：フロア・厨房・トイレの清掃、コーヒーコーナー、看板メニュー表、弁当、クッキーなどの準備
軽作業	内容：ぼろ布切り、箸入れ、ハンコ押し、箱作り 課題：状況に左右されずに確実にこなせるようにする。

② 行事・活動報告

宿泊旅行	8月29日（木）・30日（金）パン・弁当と合同で群馬方面にて1泊旅行を実施。
就労B型忘年会	12月25日（水）パン・弁当と合同で、ホテルビュッフェとカラオケに別れて実施。
リズム体操	基本毎月第3水曜日に希望者のみ参加

③ 次年度へ向けて取り組むべき課題

- ◎市民会館改修工事に伴う閉館時の対応
- ◎店の特性を考慮に入れた商品開発
- ◎仕入れ先変更の検討

そらグループ

① 作業内容

作業種目	作業内容・課題
DM	内容：週1件、月4件ペースで塾の案件、学校入学案内、企業向け専門雑誌等の封入・封かん作業 課題：利用者の出来る作業が増え、また、気持ちの安定にも繋がる為、以前より部数を増やして請け負った。昨年11月より男性非常勤職員が入職し、資材の運搬や準備もスムーズに行えてはいるが、近年、複雑な資材や細かい区分けが多くなってきている為、丁寧な扱いが必要となっている。
障害者雇用創出事業	内容：障害福祉課・ごみゼロ推進課・環境保全課・子ども家庭支援センター等から作業依頼を受け、パンフレットや引換券の挟み込み作業や封入作業 課題：年間スケジュールに沿って市役所より依頼される為、DM作業と重なることもあるが、各チームに分け同時進行で行えるようになっている。作業能力も上がっている為、引き続き依頼された業務は受けていく。
日野台印刷委託業務	内容：選挙ポスターのテープ付け・DM封入・短冊の針金付け・冊子の振り込み用紙糊付け 課題：突発の作業依頼が多いが、単価が高い事や納期の相談も可能なので引き続き受けていく。

② 活動・行事報告

宿泊旅行	7月11日～12日 那須方面に1泊旅行を実施。
外出活動	5月高尾山ハイキング外出 7月～8月プール活動と外食活動 9月夕焼け小焼けBBQ外出 1月新年会カラオケ外出
お楽しみ活動	毎月10日を目途におやつ作りを利用者と楽しみ、行っている。
リズム体操・絵画	毎月第1・第3水曜日にリズム体操、個別の絵の指導

③ 次年度へ向けて取り組むべき課題

- ◎昨年度グループとして提案した『売り上げ200万円実現し、利用者の給料を上げる！』を目標に、団結し職員1人ひとりが意識を持って残業を増やさず、作業・支援に取り組んだ。このことを活かし、更に新しい目標を考え今度は他グループの模範となるグループを作ってい

きたい。

はなグループ

① 作業報告

作業種目	作業内容・課題
榮太樓	内容：ピーセン等のお菓子の箱詰め。 課題：繁忙期には資材管理や納期に追われることもあるが、新規職員が榮太樓作業を覚え、昨年よりスムーズに進められている。定期的に作業を請け負い、榮太樓總本舗の信用を得て特例として榮太樓製品のショップ販売は継続出来、季節商品も定期的に販売出来ている。今年度もグループの中心的な作業種として利用者に作業を提供する。今年度も継続して残業を減らすように意識する。
弁当配達	内容：高齢者の弁当配達。 課題：現状弁当配食件数は平均 14 件/日となり、一時は 20 件を超えることもあったが昨年に比べ落ち着いている。夏場の猛暑対応が懸念される。
パン外販・パン袋帯付	内容：松が谷高校、日野高校、日野自動車へのパンの販売。ひのめぐみ焼きカレーパン袋の帯付。 課題：企業や高校に出掛け、地域と交流を深めることは利用者の意欲向上にも繋がっている。弁当配達との職員のやり繰りが課題。
施設内外清掃	内容：施設廊下、階段清掃、エレベーター、男女更衣室、草むしり。

② 活動・行事報告

宿泊旅行	9月12日～13日上州方面へ宿泊活動を実施した。
外出活動	5月旭が丘地区センター利用 7月～8月プール活動 1月新年会 2月榮太樓本舗みなみ野工場
予科活動	毎月第1第3水曜日にリズム体操を実施し、夏季は猛暑の為休止となった。外販の時間や、人員の確保等体制上掃除が難しく、掃除の器具等を事前に用意することで対応出来た。
お楽しみ活動	月1回のおやつ作り。時に昼食から作るという企画も提案した。

③ 次年度へ向けて取り組むべき課題

◎職員事務作業の配分。

◎非常勤職員の勤務していない曜日の職員体制と作業配分。

うみグループ

① 作業報告

作業種目	作業内容・課題
納品	内容：わーく・わーくショップ(パン・お菓子・自主製品)、川崎クリニック(自主製品、1回/月)、富士電機
自主製品	内容：マーブリングによる新撰染め、バンダナ、一筆箋、メモ帳、シュシュ、名刺等の製品の作成、レジンアクセサリ製品の作成 課題：今後、ABグループ分けの中で、紙製品、布製品で分けることも検討。

	レジンアクセサリーの製造について、アレルギーのない利用者、職員しか取り組めず、担い手が少ないこと。
創木造園	内容：チラシ折り・封入
チラシ折り	内容：「ショップゆめ」販促チラシ(12周年記念・ハロウィン・クリスマス・バレンタインのフェア等、年間6回約3000部)、他職員募集チラシなど。
廃品回収	内容：毎週火・木ルート回収・第2金曜回転市場・毎週水八王子DM・第1水ゆいまーる多摩平の森、他電話依頼により回収(数か所) 課題：回収先の整理とルートの見直しによる効率化。
ポスティング	内容：ボランティアインフォメーション(毎月・500部)、ショップゆめチラシ及び職員募集チラシ(約3000枚)
公園清掃	内容：万願寺中央公園・大木島自然公園・北川原公園・池掘公園の4か所を月合計7回

② 活動・行事報告

宿泊旅行	9月19日～20日1泊2日河口湖方面。
外食活動	4月のみレストラン利用、その他は職員体制上デリバリーとした。
レクリエーション	職員体制上、外出、レストランへの外食が実施できなかった為、DVD鑑賞、カラオケ、綿あめ・ポップコーン・かき氷機の使用やお菓子作り等のレクリエーションを取り入れた。
リズム体操・絵画	毎月第1水曜日はリズム体操、第3水曜日はリズム体操と絵画の選択制で行う。

③ 次年度へ向けて取り組むべき課題

◎A・B2つのグループに分けて、ミーティングのみ別に行っていたが、総勢25名となる為、活動もグループごとに組み立てることを12月より試行。昼食も2階食堂と作業室に分け、職員の休憩時間を確保しながら歯磨きの実施ができるように検討中。 利用者の所属についても再編成し、Aは作業中心、Bは作業とともに身体機能の維持等に重点をおく。作業室のレイアウト等についても再検討している。2021年度にむけ、次年度は職員配置についても検討していく。
--

12. 全体行事報告

飛火野ロータリークラブ交流会	4月20日(土)飛火野ロータリークラブの皆さんによるバーベキューを味わい、交流を図った。今回をもって終了となった。
旭が丘中央公園夏祭り	7月26日、上の原自治会主催の夏祭りに出店。27日に利用者も祭りに参加して、祭りを楽しんだ。
運動会	10月6日ふれあいホールにおいて初めて実施された。一昨年まで中央大学体育館で行っていた内容で行われた。大きな混乱なく、楽しむことができた。
夢ふうせんまつり	10月27日に社会福祉法人おおぞらのおおぞら祭りと同日開催で夢ふうせんまつりを行った。後援会役員が受付と案内を行ってくださった。内容は、夢ふうせんでどの様なことを行っているかを地域の皆さんに知っていただくこ

	<p>とを目的として、生活介護グループの作業体験コーナー、就労継続支援 B 型グループの製品販売を中心として、保護者によるバザー品の販売、有志の方による科学実験や模擬店、食堂でのステージ発表など、より多くの方に足を運んでもらえるような企画を行った。特にステージ発表では、「みんな大事な仲間たち」の作曲をしてくれた SIO さんのステージがあり、第七幼稚園の発表、児童館手話サークルの発表、有志の皆さんによる合唱やプロのマジシャンによるステージと合わせて、会場がとても盛り上がった。</p>
ゆめフェス（生活介護）	<p>11月16日に TFC53 を招いて、生活介護グループ(そら・はな・うみ・風)が参加する音楽フェスを行った。TFC53 の方々と一緒に歌を楽しむ利用者の方もいて、それぞれ有意義な時間を過ごせた。</p>
たきび祭	<p>12月7日旭が丘商工連合会主催のたきび祭に参加した。各グループの製品販売を行い、利用者も買い物やステージ発表を楽しんだ。第四中学校生徒がボランティアとして2名、販売の手伝いをしてくれた。</p>
ユニバーサルスポーツ交流イベント	<p>2月2日文化スポーツ課主催のユニバーサルスポーツ交流イベントへの参加と夢ふうせんでのレクリエーション活動を行った。両会場とも利用者が楽しんで取り組む様子を見ることが出来た。</p>

Ⅲ工房夢ふうせんアネックス

1. 主要な事業内容

工房夢ふうせんアネックスは、今年度より主たる事業所として独立。25名の定員に対して23名の現員体制であった。

2. 主要な事業所

工房夢ふうせんアネックス 東京都日野市旭が丘2-4-2-3

3. 利用者の状況（2020年3月31日現在）

区分	グループ	男	女	合計
生活介護	風	8	15	23
合計		8	15	23

4. 職員の状況（2020年3月31日現在）

職名	常勤	非常勤	職名	常勤	非常勤
施設長	1(兼務)		生活支援員	8	4
副施設長	1(兼務)		管理栄養士		1(兼務)
サービス管理責任者	1		調理員		4(兼務)
事務員	2(兼務)	1(兼務)	運転手		4
看護師	1	1			
医師		1			
作業療法士		1	合計	14	17

各グループ職員配置（平成30年3月31日現在）

グループ	利用者	常勤職員	非常勤職員	常勤換算
風	23	8	3	9.3
合計	23	8	3	9.3

5. 風グループ

① 作業報告

作業種目	作業内容・課題
紙作業	内容：古紙や牛乳パックをリサイクルし、はがき、葉、カード等の製造 課題：製品作りが難しく、売り上げが減少してしまった。作業工程の見直し、商品化に向け再検討する必要がある。
アルミ缶作業	内容：アルミ缶つぶし 課題：作業台の改良。
革製品	内容：革製品の紐通しと包装

	課題：そらグループと共同で作業ができないか、検討中。
--	----------------------------

② 活動・行事報告

島田支援事業	医師、理学療法士、言語聴覚士、臨床心理士による専門的なアドバイスをいただいた。新利用者を中心にアドバイスを受け、支援上大変参考になった。
入浴サービス	希望者 15 名の入浴支援。それぞれ週 1 回ローテーションで行った。
歯科指導	清水歯科医師来所。通所利用者全員、食後の歯磨き指導を受けた。ブラッシング指導の他、歯ブラシの見直しなどのアドバイスを頂き、保護者へ申し送りをすることが出来た。
床屋	月 1 回理容師に来ていただき、希望利用者が有料で散髪した。
プール活動	七生福祉園・八王子東特別支援学校のプールを借りて行なった。
外出・外食活動	近隣の飲食店に行き食事を楽しむ機会を設けた。外出活動は、近隣の公園を中心に行った。
アロマ	第 3 木曜日の午後、ボランティア 2～3 名来所。各利用者に合わせ、手や足、背中でのマッサージを行っている。

③ 次年度へ向けて取り組むべき課題

- ◎今年度より活動室、多目的室とグループに利用者、職員とも分かれ活動を行った。職員定着が難しい等の理由により、作業や訓練その他の活動がこれまと同様に行うことが難しい現状があり活動内容、活動時間等、全体的な見直しを行う必要がある。
- ◎利用者の特性を学ぶ機会や入浴機器、リフト等、定期的な職員向けの講習を行い未然に事故を防ぐ。「人権擁護」「自己決定」の意識を持ち利用者支援にあたるよう定期的な振り返り等、啓発の機会を設ける。

IV 夢のいえ

1. 主要な事業内容

2019年度は5名の入居者が安定して生活することが出来た。またショートステイの利用は月平均26日であった。

2. 主要な事業所

夢のいえ 東京都日野市高幡 1001-8 久野第2ビル7階

3. 利用者の状況（2020年3月31日現在） 定員5名

男性	女性	合計
2名	3名	5名

ショートステイ

稼働日数	利用日数	利用率
292日	322日	110.2%

4. 職員の状況

職名	常勤	非常勤
管理者(兼務)	1	
サービス管理責任者(兼務)	1	
生活支援員	1	
世話人		10
合計	3	10

5. 今後の課題

第2 夢のいえの物件探し

法人全体の課題でも触れたように、グループホームの新規整備がどのような形で進められるか、検討を続けていく。

地域との関係づくりについて

第三者評価で改善が必要と指摘を受けた地域との関係づくりについて取り組んでいく。まずは散歩の時に交番や消防署の方に挨拶をするなどからスタートしていきたい。